

中日平和友好条約締結四十周年記念

卓民水墨画展

——中国北宋水墨画の新たなる継承

展示期間

2018.3.5(月) — 3.9(金)

時間：10:30～17:30 (最終日は13:00まで) 入場無料

開幕式：3月5日(月) 15:30～

交流会：3月5日(月) 16:30～(立食パーティー)

主催：中国文化センター 北京 798 文化創意産業投資股份有限公司

後援：中華人民共和国駐日本国大使館文化部 一般財団法人日本中国文化交流協会 公益財団法人日中友好会館 一般社団法人東京華僑總會
株式会社ユーキャン 中文導報

協賛：株式会社和商 有限会社昌平美術 青島ビール



中国文化センター CHINA CULTURAL CENTER

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル1F

Tel:03-6402-8168 Fax:03-6402-8169 HP:<https://www.ccctok.com>

E-mail:info@ccctok.com

卓民水墨画展

— 中国北宋水墨画の新たな継承

展覧会期間中特別企画講演会：

[第一回]

北宋山水画の名作を読み解く① 范寛「溪山行旅図」

2018年3月6日(火) 14:00～17:00

范寛の名作「溪山行旅図」を通して、水墨山水の骨組みがどのように作り出されていったのかを解説。絹本に描かれた「溪山行旅図」の雨点皴をはじめ、山石や樹木の描き方を実演で紹介する。

[第二回]

北宋山水画の名作を読み解く② 郭熙「早春図」

2018年3月7日(水) 14:00～17:00

郭熙の名作「早春図」と画論「林泉高致」を通して、水墨画の遠近法である「三遠法」など山水画の空間表現について解説。直筆と側筆の違いや、郭熙の「蟹爪樹」の筆法を実演で紹介する。

[第三回]

宋元水墨画日本へ、狩野派「真・行・草」の出現

2018年3月8日(木) 14:00～17:00

狩野元信「真山水図」の模写を通して、元信が南宋山水画の真体から行・草体を作り出した過程を解説。さらに、宗達の時代に生み出され、琳派の絵師たちによって発展した日本独自のたらし込み技法についても実演で紹介する。

会場：中国文化センター

要申込 / 無料 / 各回定員 40 名 / 使用言語：日本語

講師：卓民（日本名：大竹卓民 おおたけ たくみん）

東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室非常勤講師、敦煌研究院美術研究所客員研究員、中国上海大学美術学院岩彩絵画工作室主講教授。

画家としての視点から、西域の仏教壁画や宋・元・明・清の水墨画を長期にわたって研究。大学やテレビ等で、古典絵画の構造と技法を実演によってわかりやすく解説している。NHK 日曜美術館「横山大観を支えた匠たち」、「画鬼と呼ばれた絵師河鍋曉斎」、「目指せ！天下一の絵師集団～狩野元信の戦略～」、テレビ東京「美の巨人たち」— 国宝・円山応挙<雪松図屏風>」等で実演解説。

[申込み方法]

申込みは中国文化センターのウェブサイトのイベント案内一覧ページ (<https://www.ccctok.com/event/>) よりお願いします。



- 日比谷線「神谷町」駅4a番出口より徒歩5分
- 銀座線「虎ノ門」駅2番出口より徒歩7分

中国文化センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1

37森ビル1F

Tel: 03-6402-8168

Fax: 03-6402-8169

HP: <https://www.ccctok.com>